

Rotary club Rotary

YACHIYO 週報

第2470回
2018年3月30日



八千代ロータリークラブ

CLUB NO.15070



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーテーマ
Rotary : Making A Difference
地区活動方針 「理念と実践 ～ Think Next ～」

2017-18年度 クラブテーマ
「ロータリー 頑張らないで リラックス」

The Four-Way Test

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

今回例会行事

テーマ : 大相撲と行司の世界
卓話者 : 山崎敏廣氏 (第36代木村庄之助)
担当 : ロータリー財団委員会

4月6日 2471回 例会行事

テーマ : 八千代ロータリークラブの会員増強について
卓話者 : 飯生 高一郎会員
担当 : 会員増強・退会防止委員会
担当委員長 : 中島仁

◆◆◆◆ 2469回例会 ◆◆◆◆

2018/ 3/16

司会 渡邊 敏美

「奉仕の理想」 斉唱

◆◆◆◆ 会長挨拶 ◆◆◆◆

会長 橋本 幹雄



本日は、この例会後に国際ロータリー第2790地区第11分区のIntercity Meetingが開催され、会長エレクトの齊藤昌宏さんから次期クラブテーマの発表がありますので、あまり緊張感のある話は控えたいと思います。齊藤さんには公式の場でのデビュー戦ですから「ロータリー 頑張らないで リラックス」で、気持ちをリラックスさせて頂きたいと思います。

私は、大学の学生時代にある先輩から「プリン^{プリン}は食べてみろ」と云うことを云われたことがあり、今でもそれを心に銘じております。「橋本、プリン^{プリン}はみんな甘いものだと思っているだろう？本当にそうだろうか？人間って先入観で物事を判断しがちだが、このプリンには砂糖が入っていないかもしれないじゃないか。むしろ、塩が入っているかもしれない。そして、牛乳じゃないかもしれないじゃないか。（当時は、あまり無かったけれど、今では豆乳プリンなんて珍しくなくなっているように）だから、自分が口にするのは自分の口で確かめろ。大事なことをしようとする時は必ず確認する、その心がけが大切なんだ。安易に世間の常識や既成概念に自分の判断を委ねるんじゃない。よく、憶えておけよ」と云われたものです。

私の子供の頃はまだまだ世間全般が貧しかったから冷蔵庫なんてある家庭は稀で、夏場なんてお櫃に入れたご飯が一日経つと米粒の表面が粘ついて臭ってきたものです。これを鼻先に近づけて嗅ぎ、大丈夫だと思っ

たら水でよく滑（ぬめ）りを取り、雑炊や焼き飯（今はチャーハン）にして食べさせられたものです。本当に必要なものは自分の体で確かめて、無駄にせずに食べたものです。そんな状態ですから、自分の味覚を、自分の触覚を信じて判断しておりました。だから、現在のように、賞味期限や消費期限に安易に判断を委ねて、本来は食品を無駄にしないことを目的に作られているにも関わらず、現実はその反対の行動に走っている食品ロス^{食品ロス}を加速させている原因は何処にあるのだろうか。本当に体に害なく食べられるものを、一片の印刷された年月日に囚われているのは、人間が自分の五感を信用しなくなっている証左ではないだろうかと思ってしまう。

自分で判断をせず、世間に出回っているもの、あるいは既存の口当たりの耳触りのいい方法にいと簡単にからめ捕られてしまう風潮も、飽食の時代の功罪なのかもしれません。人間は本来は素晴らしい五感をもっているのですが、反面、人間自体が非常に怠惰に出来ているらしく易しい方へ易しい方へ傾斜しがちなもののようなのです。だから、自分で判断しない人間は人の話に簡単に共鳴してしまう傾向があり、その結果、人を頼り人に阿（おも）るようになってしまうようです。「プリンは本当に自分が思っているように甘いものなのか、食べてみる必要があるのではないのでしょうか」



50年以上昔になりますが、小学校の校舎の昇降口の壁に大きな額が飾ってあり、そこにエジプトの「ピラミッド」やアメリカの「ナイアガラの滝」や北極圏の「オーロラ」のカーテン状に揺らめく神秘的発光色の絵が掛けられていたのが、大人になってもずーっと脳裏に残っておりました。いつかはこの目で確かめたいと思っておりましたが、学生時代の先輩の一言の「プリン^{プリン}は食べてみろ」に触発されて『この目で確かめて

みたい』『自分の肌で感じて自分で判断したい』の思いが募り、会社を辞めて独立した翌年に1年間の自分へのご褒美として、ハワイを旅行したのを皮切りにかれこれ30年余の間に100回以上の海外旅行を楽しんできました。

今はパソコンでインターネットを開けば世界中の景色や建物や事象の写真が簡単に手に入るし、目に入る時代になって来ておりますが、それは行ったつもりにさせるけれど現実を感じている訳ではありません。どこも行かないのに行ったつもりになっているなんてつまらないじゃないですか。皆さん、出かけましょう。その目で直に見てみましょう。「プリン食べてみる」

教科書に書いてある南アフリカの喜望峰がアフリカの最南端になく、オーロラが北極圏ではノーザンライツと云われ、世界一風の強い国と云われた南米パタゴニアのペリト・モレノ氷河が約60mの高さから湖に崩落する様はその轟音と共に壮大である。コナンドイルのロストワールドのモデルとなった太古の世界を今に残す、テーブルマウンテンの林立と1,000mの落差を誇るエンジェルホール。世界三大フォールズのひとつブラジルのイグアスの滝の滝壺に突っ込むパワーボートのスリル感。アラスカのチェナホットスプリングスの露天風呂に入った瞬間に髪の毛が針状に凍りつく-40度のカウントダウンパーティーのほろ酔い気分で見ると、ブレイクしたオーロラの幻想さ神秘さ。南の島、タヒチのモーレア島から飛行機で40分の位置にあるボラボラ島の初めて見るラグーンのエメラルドグリーンの驚き。モンブランを眼下にみるエギーユ・デュ・ミデュ展望台の高さと絶景。スイスのユングフラウヨッホ展望台やマッターホルンやクライデシャイデックの山岳地帯などなど数え上げたらきりがありません。ここに紹介したのはほんの一部です。世界は本当に広い、を実感させられます。現地の空気をその肌で感じ、その香りに身を包まれてしばしリラックスをしてみませんか。「プリン食べてみる」です。

◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

幹事 三井 啓久



- ・次週3月23日の例会はお休みです。本日は例会に続いてIM参加となります。会場は隣です、例会終了後はこの場でご歓談下さい。
- ・IMは14:30受付開始15:00点鐘、齊藤会長エレクトのお話は16:20頃の予定です。
- ・橋本会長からホストクラブの紹介。
- ・飯生次年度ガバナー補佐からご挨拶があります。
- ・懇親会は17:30開始 会場は5階ですのでご移動下さい。
- ・飯生次年度ガバナー補佐が乾杯の音頭をとります。

◆◆◆◆◆ 例会行事 ◆◆◆◆◆

テーマ：論語と算盤という懸け離れたものを
一致せしめる

(ロータリークラブにおける職業奉仕)

卓話者：佐野 忠信会員



明治から大正にかけて大活躍した実業家の渋沢栄一は、「日本資本主義の父」と呼ばれています。渋沢は、江戸末期の1840(天保11)年に武蔵国榛沢郡血洗島(現・埼玉県深谷市)で生まれました。そして1931(昭和6)

年に91才で亡くなるまでの間、一人の人間が行ったとは信じられないほど数多くの事業に携わりました。

渋沢の生家は、農耕、養蚕、藍玉（藍の葉でつくる染料）などを営む豪農でした。幼い頃から四書五経を学び、剣術の修業を積んだ渋沢は、江戸に出て勤王の志士らと親交を持ち、尊王攘夷思想に青春の炎を燃やします。仲間とともに横浜の外国人居留地を焼き討ちにする計画を立てたこともありましたが、これは周囲の説得により中止しました。

その後、一橋家の家臣に推挙されて一橋慶喜（後の徳川慶喜）に仕えます。慶喜が将軍になったことで渋沢は幕臣となり、1867（慶応3）年（27才）には、パリ万国博覧会に出席する慶喜の弟・徳川昭武に随行してヨーロッパに渡りました。そこで渋沢はカルチャーショックを味わいます。近代的な産業設備や軍備、経済制度、上下水道等々、欧州の進んだ文明を知り、世界に目を開くことができたのです。渋沢は現地で鬻を切り、洋服を着ました。フランス語を習い、欧州の文化や経済を学びました。これが実業家としての渋沢の基礎を形成するのです。欧州滞在は2年間に及びましたが、その間に日本では明治維新が起こり、新政府からの命令を受けて帰国します。

静岡で謹慎していた徳川慶喜を尋ねた渋沢は、そのお膝元で日本初の合本組織（株式会社）を設立します。銀行と商社を合わせたような事業を始めたところ、大成功を収めて地域の経済発展に貢献しました。その優れた経営手腕を伝え聞いた新政府は、渋沢を官僚に迎えようとしています。元幕臣として初めは固辞しましたが、大隈重信らの説得によって、1869（明治2）年（29才）に大蔵省に入省しました。そこでさまざまな制度の立案・制定に携わったものの、次第に新政府内での対立が深まり、1873（明治6）年（33才）に退官。これ以降は実業界に身を置き、幅広い活動を展開していきます。

退官後、まずは大蔵官僚時代に設立の指導をしていた第一国立銀行（現・みずほ銀行）の頭取に就任しました。同銀行を経営しながら、たくさんの地方銀行の設立を指南しており、日本中に金融機関が誕生するきっかけをつくったといえます。銀行だけでなく、数々の企業設立も積極的に進めました。王子製紙（現・王子ホールディングスと日本製紙の前身）、東京人造肥

料会社（現・日産化学工業）、東京瓦斯（現・東京ガス）、帝国ホテル、サッポロビール、富岡製糸場等々、渋沢が設立に関わった企業は5百社以上に及びます。

また個々の企業だけでなく、東京商法会議所（東京商工会議所の前身）を設立し、初代会頭に就任して、産業界全体の牽引役も務めました。つまり明治の日本において、これからどんな産業が必要であるかを考えた最初の人物であり、日本で資本主義の原型を創り上げた最大の功労者であるといっても、決して言い過ぎではないでしょう。その活躍は実業界だけにとどまりません。数々の医療機関の設立、対外貿易や民間外交の推進、数多くの大学の設立、大規模災害時の寄付金活動など、多種多様な社会活動にも力を注ぎ、大きな足跡を残しているのです。渋沢は1916（大正5）年（76才）に『論語と算盤』という著書を上梓しています。同書から次の一節を引用しておきましょう。

富を成す根源は何かといえば、仁義道德、正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ、ここにおいて論語と算盤という懸け離れたものを一致せしめる事が、今日の緊要の努めと自分は考えているのである。

（『論語と算盤』渋沢栄一、国書刊行会）

この本で、渋沢栄一は「道德経済合一説」を唱えています。「取引相手に対して不道德な商売をしたり、権謀術数をめぐらすようなやり方で一時的に儲けたりしても、その富は永続するものではない。正しく道德的な商売を心掛けなければいけない」という主張です。また、「たとえ自分の利益にならなくとも、道理にかなない、国家社会に利益がもたらされるのであれば、自分はその道理に従う」という意味の言葉も残っています。渋沢栄一は本当に自分の富を追求しませんでした。これほど多くの創業に携わったのですから、例えば「渋沢財閥」をつくろうと思えば造作もなくつくれたはずですが、しかし、渋沢はそういう道を選ばず、常に富は社会に還元するように心掛けました。渋沢栄一のような働きは、さすがに誰にも真似できないでしょう。しかし少なくとも、私利私欲に走らず、公の利益を考えて行動する心意気を持ちたいものです。（職業奉仕？）それが、現代の私たちにとっての「論語」と「算盤」を一致させる道ではないでしょうか。



R I D2790第11分区I. M. に寄せて

2017-18年度R I D2790ガバナー 寺嶋哲生（柏R C）

この度、2017-18年度R I D2790第11分区のInter-city Meetingが、杉山芳夫ガバナー補佐のご尽力の下にご盛会の内に開催されます事、誠におめでとうございます。

ご準備頂きました皆様には、心より感謝申し上げます。

I. M. とは、懇談等を通じた会員相互の友好や、ロータリー活動に関する情報伝達や知識の向上を目的とし、近郊都市の複数のクラブが合同で開催する集まりです。

分区内の全会員が参加される機会でありますので、ロータリーについて多くを学び、多くの知己を得る貴重な場でありましょう。

本年度のRI会長テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」であります。

イアン・ライズリーR I会長は、自分にとってのロータリーとは「どのような団体か」ではなく「何をしているか」で定義されると述べ、私達ロータリアンには実践的奉仕プロジェクトを通じて人々の人生や境遇に好ましい変化をもたらそうと呼び掛けていらっしゃいます。

皆様が、ロータリアンとして奉仕の理念をより深く認識し、あるいは具体的な奉仕プロジェクトを実践する大いなる気付きを得る。

このI. M. が、参加される皆様にとって有意義な時間となります事を願っております。

第11分区の各クラブのご発展と会員各位のご活躍を心よりご祈念申し上げ、R I D2790第11分区I. M. に臨む挨拶と致します。

〈メモ〉

Two columns of horizontal dashed lines for taking notes.



開会挨拶

ホストクラブ会長 鶴田 禮司



点鐘

ガバナー補佐 杉山 芳夫



ご来賓紹介・挨拶

崎山 征雄PG



基調講演

ガバナーエレクト 橋岡 久太郎



2018-2019年度のクラブテーマについて

齊藤会長エレクト



次年度ガバナー補佐挨拶

八千代RC 飯生 高一郎



次年度ガバナー補佐・分区幹事紹介
八千代RC会長 橋本 幹雄



懇親の宴 オープニングセレモニー



乾杯
次年度ガバナー補佐 飯生 高一郎



各クラブ報告
三井幹事

Rotary	
2017-2018年度 国際ロータリー第2790地区 第11分区 Intercity Meeting プログラム	
◀ 国際ロータリー第2790地区活動方針：「理念と実践 ～Think Next～」 ▶	
日 時：2018年3月16日（金）午後 15：00	
会 場：ウィシュトンホテル・ユウカリ	
インターシティ・ミーティング	
14：30 受付開始（4層 ジャルダン）	（敬称略）
15：00 点 鐘	司 会：第11分区幹事 鈴木 均
国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ガバナー補佐 杉山 芳夫
開会挨拶	ホストクラブ会長 樋田 禮司
主催者挨拶	ガバナー補佐 杉山 芳夫
ご来賓紹介・挨拶	崎山 征雄 PG 橋岡久太郎 GE
15：18 基調講演『最新のRI』	ガバナーエレクト 橋岡久太郎
15：50 ～ 休 憩（コーヒーブレイク）～	
16：00 2018-2019年度 各クラブのテーマについて、各クラブ会長エレクトより発表	
習志野RC	『笑顔あふれるクラブ例会を楽しもう』
八千代RC	『奉仕と会員との交流を楽しもう』
佐倉RC	『まず、何かを始めよう！』
八千代中央RC	『変化への挑戦』
四街道RC	『会員増強3名・四街道RCが笑いが絶えないクラブにする』
習志野中央RC	『補を以て貴しとなす！』
佐倉中央RC	『 Passion and Inspiration 』
各クラブ発表（各持ち時間10分以内）	
17：10 直前ガバナー補佐へ記念品贈呈	ガバナー補佐 杉山 芳夫
直前ガバナー補佐岡村会員からのメッセージ代読	佐倉RC 加藤 良二
次年度ガバナー補佐挨拶	八千代RC 飯生高一郎
次年度ホストクラブ紹介	八千代RC会長 橋本 幹雄
閉会の言葉	IM実行委員長 椎名 博信
17：20 点 鐘	ガバナー補佐 杉山 芳夫
会員交流会（5層 ロイヤル）	
17：30 入 場	～ 各テーブルに着席 ～
司 会：習志野ロータリークラブ 幹 事 岩野 英穂	
17：40 開宴挨拶	IM実行委員長 椎名 博信
乾 杯	次年度ガバナー補佐 八千代RC 飯生高一郎
～ 会員交流 ～	
各クラブ報告	
謝 辞	ガバナー補佐 杉山 芳夫
19：10 閉宴挨拶	ホストクラブ会長 樋田 禮司

◆◆◆◆ ニコニコBOX (¥9,000) ◆◆◆◆

遠藤 章雄：齊藤エレクト頑張ってください！
 風間 茂：齊藤会員発表楽しみにしています。
 江頭 泰利：齊藤エレクトのあいさつ楽しみにしています。
 杉山 智基：橋本会長、齊藤会長エレクト、飯生次年度ガバナー補佐、リラックス！
 嶋田 陽一：齊藤会長エレクト IM頑張ってください。
 君塚 欣哉：齊藤エレクト頑張ってください。
 杉 晟：IMおよび齊藤さんデビュー楽しみです。
 植村 正徳：ネームプレート家に忘れました。
 宮田 慎吾：齊藤昌宏エレクト、頑張ってください。

齊藤 昌宏：次年度よろしくお祈いします。
 佐久間勇治：フレンド会で念願の優勝が出来ました。ありがとうございました。
 安宅 照男：齊藤昌宏会長エレクト、IM、発表頑張ってください。
 大中 宏道：齊藤さん頑張ってください！
 福田 良博：橋本会長、齊藤昌宏会長エレクト、飯生次年度ガバナー補佐、よろしくお祈い致します。
 飯生高一郎：今日のIM出席よろしくお祈いします。
 三井 啓久：IM、齊藤昌宏エレクトよろしくお祈いします。佐野さん卓話よろしくお祈いします。
 浅野 正敏：齊藤昌宏さんガンバッテ
 渡邊 敏美：齊藤次年度発表期待してます。
 鈴木 利雄：橋本会長、齊藤昌宏会長エレクト、飯生次年度ガバナー補佐、がんばってください。

◆◆◆◆ 友愛BOX (¥31,000) ◆◆◆◆

寺沢 一三：齊藤昌宏会長エレクト、よろしくお祈いします。
 市原 正男：齊藤エレクト、がんばってください。
 永田 勝久：会長エレクト 楽しみにしています。
 石渡誠太郎：齊藤さんがんばって。
 松戸 英雄：IM楽しみです。
 中島 貞好：齊藤昌宏会長エレクト。宜しくお願いします。
 安江 啓：本日、例会のみで失礼します。申し訳ございません。
 池田 建：齊藤エレクトがんばってください。
 朝戸 健夫：IM、会長エレクト、よろしくお祈いします。
 中村 賢治：齊藤昌宏さんガンバッテ下さい。

◆2018年3月のロータリーレート=108円



近隣クラブ例会日 例会場

火曜日 四街道R.C	(四街道ゴルフクラブ)
火曜日 八千代中央R.C	(ウイシュトンホテル・ユーカリ)
水曜日 習志野R.C	(習志野商工会議所会館)
水曜日 佐倉中央R.C	(ウイシュトンホテル・ユーカリ)
木曜日 佐倉R.C	(フランス料理・シェ・ムラ)
木曜日 習志野中央R.C	(習志野商工会議所会館)

例会出席率 ※欠席の時は必ず前日までに出席委員長に連絡して下さい。

	会員総数	出席対象者	出席	%
3/16	52	46	38	82.6

■出席委員長 江口 茂勇
 携 帯:090-3133-0839 TEL:047-487-1085
 FAX:047-485-5567

■例会日 金曜日 12:30 ~ 13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX:047-450-0050)

どこかで春が
 作詞 百田 宗治
 作曲 草川 信
 どこかで春が 生まれてる
 どこかで水が ながれ出す
 どこかでひばりが ないている
 どこかで芽の出る 音がする
 山の三月 東風(こち)吹いて
 どこかで春が 生まれてる
 ※大正12年3月「小学男生」で詩が発表され、その後曲がつけられました。

■クラブ会報委員会
 委員長:大中 宏道 副委員長:安宅 照男

TEL:047-459-5806